

[03_05]九州大学大型計算機センター広報 : 3(5)

<https://doi.org/10.15017/1467970>

出版情報 : 九州大学大型計算機センター広報. 3 (5), pp.1-42, 1970-10-12. 九州大学大型計算機センター
バージョン :
権利関係 :

ライブラリ登録手続きについて

広報VOL3 No.4において、ライブラリプログラムのサービス方法について説明いたしましたので、本号では、ライブラリの登録手続きについて説明したいと思います。

ライブラリとして登録されるプログラムには、(1)センターに計算機システムの一部として納入されたプログラム (2)センターが開発収集したプログラム (3)センター利用者が提供したプログラムの3種類があります。

(既に使われているSSLは(1)に属するものです)

ライブラリを充実したものにするためには、ぜひ利用者の方々の御協力を仰がねばなりません、それにはまず、次の方法があります。

即ち、ライブラリとして適当だと思われるプログラムをお持ちの方がいましたら、そのプログラムをセンターのライブラリとして登録し、広く一般の利用者の方々に使っていただくという事です。それには、以下のような方法によって、ライブラリの登録申請をしていただく事になります。

(I) 登録手続きについて

以下のような書類等を添えて、センター図書室のライブラリの係に提出していただきます。

- (1) ライブラリプログラム登録申請書 (様式1)
- (2) ライブラリプログラム説明書(A) (様式2)
- (3) プログラム説明書(B) (様式3)

プログラムの概要、計算法、使用法、流れ図、テスト結果等を「ライブラリプログラム説明書の書き方」に従って記述していただきます。

- (4) ソースプログラムリスト及びカードデッキ(又は磁気テープ)

カードデッキまたは磁気テープはコピーして元のものをお返しします。

- (5) 使用例

できれば計算結果、及び入力データリスト等を添付していただきます。

様式1、2、3及び「ライブラリプログラム説明書の書き方」はセンター図書室、地区協、各連絡所に備えていますので、どしどし登録申請してください。

このようにして、登録申請していただきますと、研究開発室(あるいは、センターから委嘱された人)によって簡単なチェックがおこなわれます。その後、ライブラリ委員会の審議を経て、運営委員会での決定に従って、前号でお知らせしましたようなサービス方法により公開されます。

(II) 登録番号、IDコードについて

ライブラリとして登録されるプログラムには、すべて、登録番号、IDコードがつけられます。

(前号ではこの事について触れませんでしたので、ここでお知らせします。)

登録番号は、プログラムにつけられた通し番号で、IDコードは以下のような意味を持っています。

A 9 / A A / A / A X X X X X

① ② ③ ④

ただし { Aは英字1桁
 9は数字1桁
 Xは英字または数字または.(ピリオッド)1桁

を示す。

①……分類コードを示す。

東大大型計算機センターの分類コードに従うもので、プログラムの種類を示す。英字1桁で大分類を、数字1桁で小分類を示す。

(分類コード表は、広報VOL2 No.2のP.26に記載してあります。)

②……作成別を示す。

それぞれ以下の意味をもっている。

{ F C……富士通作成を示す。
 Q C……九大センターにて開発、収集したものであることを示す。
 Q U……利用者提供のものであることを示す。

③……用途を示す。

{ A……ALGOLのプログラムから呼ばれるものを示す。
 F……FORTRANのプログラムから呼ばれるものを示す。
 Z……その他(応用プログラム等)

④……プログラムの名前を示す

例えば、FORTRANではサブルーチン名、関数名(またはエレメント名)

ALGOLでは手続き名(またはエレメント名)

!0

今後、ライブラリの充実を図るため、新しいプログラムの開発、収集に力を入れなければなりません。

センターのライブラリ委員会でこれらの開発収集計画、その他ライブラリに関する事を審議決定し、それに従って作業を進めていくわけですが、広く利用者の方々の御協力をお願いします。

ライブラリに関する、御希望、御意見等がありましたら、問合せ票、利用者の声などを通じて、ライブラリ委員会に出していただきたいと思ひます。それと共にライブラリ登録申請等を通じて、積極的な御協力をお願いいたします。